

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 27号
R8. 6. 4
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 8年 6月「月報」

1 はじめに

5月2日、南米、南極圏を航行し南大西洋上を航行中のクルーズ船「MV ホンディウス」におけるハンタウイルス感染症の発生がWHO（世界保健機関）に報告されました。

国立健康危機管理研究機構によれば、ウイルスの種類ごとに経路となる特定のげっ歯類が決まっており、自然宿主となるげっ歯類が生息していない地域にウイルスが入り込んでも、自然界の感染サイクルは成立せず、当該のげっ歯類は日本国内には生息していないので、日本国内で本事例の原因となったハンタウイルスに感染する可能性は極めて低いと考えられるとのことでした。

思い起こされるのは、新型コロナウイルス……

およそ2年間にわたり、防衛講演会の中止、定期総会の時期の変更、募集協力活動等にも大きな影響が出ました。

今月半ばに定期総会と50周年行事を控え、事務方としてはハラハラしたところです。皆様、ご健康で、ご安全に……。

2 防衛省・自衛隊の活動（防衛省 Web、X 等より）

- (1) 5月23日、小泉防衛大臣は陸自真駒内駐屯地、空自千歳基地（第2航空団）等を視察し、冬季戦技教育隊や部隊の訓練を視察・激励し、隊員家族と交流しました。



- (2) 統合幕僚監部は令和8年4月の月間緊急発進状況を公表しました。

それによると、4月の月間緊急発進は55回で令和7年4月の66回に比べて11回の減でした。55回の内訳は対露12回、対中43回で、令和7年4月の対露22回、対中43回、その他1回に比べると、対露の緊急発進回数が大きく減っていることが分かります。また、中国は変わらずわが国の周辺で活動しているようです。



F-35A 戦闘機



F-15 戦闘機



F-2 戦闘機

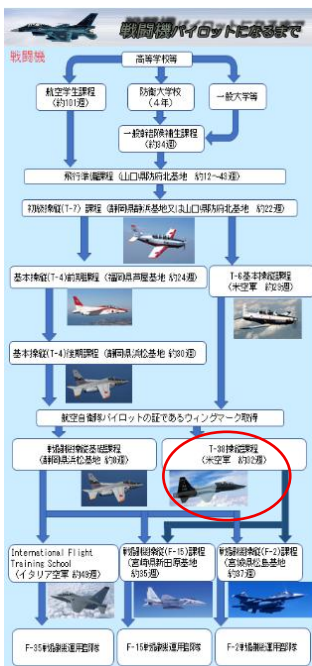
(3) 5月13日0200頃(日本時間)、アメリカ合衆国コロンバス空軍基地(ミシシッピ州)所属のT-38C練習機がアラバマ州西部において訓練中、米国委託教育を受けている航空自衛隊員を含む搭乗員2名が緊急脱出する事案が発生しました。

緊急脱出した航空自衛隊員は、コロンバス空軍基地周辺の病院に搬送され、命に別状はありませんでした。

ご参考までに、空自の操縦手養成のうち、戦闘機について航空教育集団司令部のWebにあるものを転載します。

募集協力活動等でご活用下さい。

同Webには輸送機、救難機パイロットへの道も載っていますので、ご覧ください。



3 家族会の活動

(1) 令和8年度第1回理事会(書面決議)の結果

6月1日、本会は、以下の議案を第1回理事会に諮り、理事全員の同意と監事2名の異議なく、決議しました。

- ・第1号議案：令和7年度自衛隊家族会事業報告
- ・第2号議案：令和7年度自衛隊家族会収支計算書及び監査報告書
- ・第3号議案：役員改選
- ・第4号議案：顧問人事
- ・第5号議案：県家族会長人事
- ・第6号議案：運営委員人事

(2) 空自高良台分屯基地研修

5月22日、福岡県大刀洗町自衛隊家族会は、九州北部地域の防空任務のため筑紫平野の中部に所在する高良台分屯基地を研修しました。

分屯基地到着後、まず、基地の概要説明受け、その後、現地で射撃管制装置・レーダー装置・発射機・走りながら炊飯のできる野外炊事車・待機車等の説明を受けました。365日24時間昼夜絶え間なく防空任務の即応態勢に勤務されている隊員の皆様のたくましい姿に接し、会員も我が子に思いをはせるように熱心な質問が飛び交い、改めて、国防の重要性を認識した次第です。



(3) 青森自衛隊ねぶた制作に伴う安全祈願に参加

5月8日、青森市自衛隊家族会長、青森駐屯地のねぶた制作に先立って行われた「ねぶた安全祈願」に、協賛会理事として参加しました。8年度制作する



「ねぶた」の題名は

「守護の風 支那津比古」で、鎌倉時代中期、日本の征服を試みたモンゴル帝国の大船団を、鎌倉武士が苦戦の結果打ち破り、我が国を守り抜いた歴史を捉えたものです。



世にいう「蒙古襲来」で、「神風」を吹かせた神こそ「支那津比古」です。

※ねぶたは本来無病息災を願う祭りですが、昨今の世界情勢、災害、物価高騰等、難局の時代を迎えている今こそ、鎌倉武士の奮闘と「支那津比古」のご加護によって難局を乗り越えたように、迫りくる脅威に立ち向かい、地域そして国民の安全・安心と平和な暮らしを守る自衛隊の姿を重ね合わせたものだそうです。

・・・ご安全に・・・

青森ねぶた祭は8月2日～8月6日（7日は花火大会とねぶた海上運行）に行われます。

(4) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果

令和8年5月の「問い合わせ」件数は、非会員の方からの1件で、事務局で対応しました。分類は、“相談者や隊員に関する相談”のI分類でした。

問い合わせ内容は、「離婚調停に関連する援助を自衛隊家族会から受けられないか。」というもので、専門的なアドバイス及び経済的な支援を意図している内容でした。

当方からは、自衛隊家族会相談窓口の運営意図は、困難を抱える家族会員等に対しての専門機関や部隊へのコーチングを始めとした繋ぎであり、当窓口には各問題に対処する為の専門の資格や知識を有する者を配員しているわけではなく、更に、家族会そのものの運営目的から、困難を抱えていることを理由として家族に対する直接的な金銭的支援を実施することは不可能である旨を伝えました。

相談者は、藁にもすがる気持ちで連絡されて来たからかもしれませんが、「木で鼻を括る」様な突き放した対応となりました。しかし、本会及び当窓口の性質上致し方なく、夫々の問題に対しては司司（つかさつかさ）で対応せざるを得ません。今回の相談者は、非会員であり、メールによる相談でしたが、これが会員であり、直接事務局に相談を持ち込まれたとしても残念ながら同様の対応と成らざるを得ませんでした。

これまで、本相談窓口へ持ち込まれた様々な相談への対応は、少なからず自衛隊の為になっていると認識してきましたが、離婚と言う夫婦間の法的な対決の場に対して、本来、当家族会が支援すべき自衛隊員である夫に非が有るかどうか不明な状況で、その対立者から一方的に支援を求められる構図は、割り切れない余韻を残す案件でした。

4 事務局からの連絡

(1) 令和8年度定期総会・第2回理事会・表彰式の概要

ア 時期：6月16日（火）13：00～16：00

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 総会

(ア) 議題

- ・第1号議案：令和7年度事業報告
- ・第2号議案：令和7年度収支計算書及び監査報告書
- ・第3号議案：定款の変更
- ・第4号議案：役員改選

(イ) 報告

- ・報告1：令和8年度事業計画
- ・報告2：令和8年度分担金
- ・報告3：令和8年度収支予算書
- ・報告4：令和8年度資金調達及び設備投資の見込み
- ・報告5：「個人情報の提供に係る協定」（仮）について

※定期総会の委任状の締め切りは6月12日（必着）です。よろしくお願ひします。

エ 令和8年度第2回理事会

(ア) 議案

- ・第1号議案：代表理事の選任
- ・第2号議案：業務執行理事の選任
- ・第3号議案：副会長の選任
- ・第4号議案：県自衛隊家族会長人事
- ・第5号議案：事務局長の承認

(イ) 報告

- ・代表理事及び業務執行理事の業務報告

オ 表彰式

- ・団体表彰、個人表彰

(2) 感謝状贈呈式 16：00～

(3) 式典 16：30～

(4) 祝賀会 17：30～

(5) 令和8年度募集協力者会同

ア 時期：6月17日（水）09：00～11：30

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 目的：内局及び各幕僚監部から隊員募集の現況や施策に係る事項の説明を受け、各県自衛隊家族会が行っている「募集協力における創意工夫等の各種施策」について相互に紹介し、今後の募集協力を資する。

エ 家族会からの参加者：各県家族会会長又は代表者及び各地域協議会地域担当運営委員ほか

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長